

あのねのね



上島町立岩城小学校第1学年 学級通信 No. 11

6月3日

地震から身を守ろう

先日は、地震についてのアンケートへのご協力、ありがとうございました。
アンケートの結果は、以下のようです。

(R1.5.9. 1年生保護者 14名に実施)

1 家庭で地震についてお子さんと話をしたことがありますか。	はい 8名	いいえ 6名
2 はいと答えた方は、どのようなことを話しましたか。(複数可)		
ア これまでに起こった地震のニュースについて	4名	
イ 今後愛媛県で起こりうる地震の可能性について	5名	
ウ 地震が起こった時の身の守り方について	5名	
エ 家が揺れた時の、身の回りの危険な物について	3名	
オ 避難経路、避難場所について	6名	
カ 家族の集合場所について	4名	
キ 防災グッズについて	2名	

1の問いに「はい」と解答されたご家庭では、家のつくりや家具のある場所を考慮しながら、身の守り方や避難経路について具体的に話し合われていました。また、スーパーなどにいる場合、レジかごで頭を守ることや揺れが収まったら高い場所に避難することなど、家以外の場所での避難の仕方や津波対策についても、具体的に話し合われているご家庭もありました。

学活で地震について学習しました

先日の地震・津波対策の避難訓練に続き、学活「じしんからみをまもろう」の学習を行いました。学校で地震が起きた時、どこが危険なのか、どのように身を守ればよいかを考えました。教室、廊下、玄関、運動場、トイレなど、具体的な場所での危険を探し、「落ちてこない」「倒れてこない」「動いてこない」場所で、頭を守ることを確認しました。

その後、緊急地震速報を突然流して、学習したことが生かせるかやってみました。「きゃー」と声を上げるかと思っていましたが、どの子も落ち着いて大急ぎで頭を守る行動ができました。



相談タイム・・・「たおれてきそうなものに、ばつをつけよう。」



「倒れてきそうな物、落ちてきそうな物がたくさん見つかったね。」



突然、緊急地震速報が流れると・・・

席を離れていたにもかかわらず、緊急地震速報を聞くと、どの子も自分の机に戻って机の下に避難しました。しかし、それでは不十分です。窓や本箱のそばは危険だという学習を生かして、机を危険物から離して避難するとか、先生の机の下に避難するとかした方がよいということも、改めて話し合いました。本当の地震が起きた時、状況によって、何が正解かは断言できません。その時に、自分の命を守る力を、なんとか身に付けていかなければ・・・と、今回の授業を通して、改めて考えさせられました。

家にいる時、地震が起きたら、どこが危険で、どこに逃げればよいかなど、まだ話し合っていない場合は、ぜひ、この機会に話し合ってみてください。また、お子さんが、学習を終えてこんなことを言っていたとか、ご家庭でこんな話合いをしたということがあれば、ぜひ、教えてください。

切り取り

地震について、こんなことを話し合いました(名前)